

Excim-Lock

ES 3D

by baby lock

1本針3本糸ロックミシン

ご使用のてびき

このたびはエクシムロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

目次

各部の名称	2	縫いはじめ	11
付属品の明細	3	縫いおわり	11
ルーパーカバーのあけ方	4	糸調子のとり方	12
布くず受けの取り付け方	4	送り目の調節	13
電源のつなぎ方	5	切り幅の調節	13
スピードの調節	5	押え圧力の調節	13
はずみ車の回転方向	5	針の交換	14
上メスの取りはずし方	5	差動送り量の調節	15
アンテナのたて方	6	巻きロックへの切り換え方	15
糸コマキャップとネットの取り付け方	6	巻き縫い、細幅糸縫い及びピコ縫い	16
押え金の上げ下ろし	7	針と糸と布地の関係	17
押え金の交換	7	ランプの取りかえ方	17
糸の通し方	8~10	上メス交換	18
—上ルーパー糸の通し方	8	注油とお手入れ	18
—下ルーパー糸の通し方	9	調子が悪いときは	19
—針糸の通し方	10	アタッチメント	20
糸端の始末	11	仕様	21

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警告

感電、火災の恐れがあります。

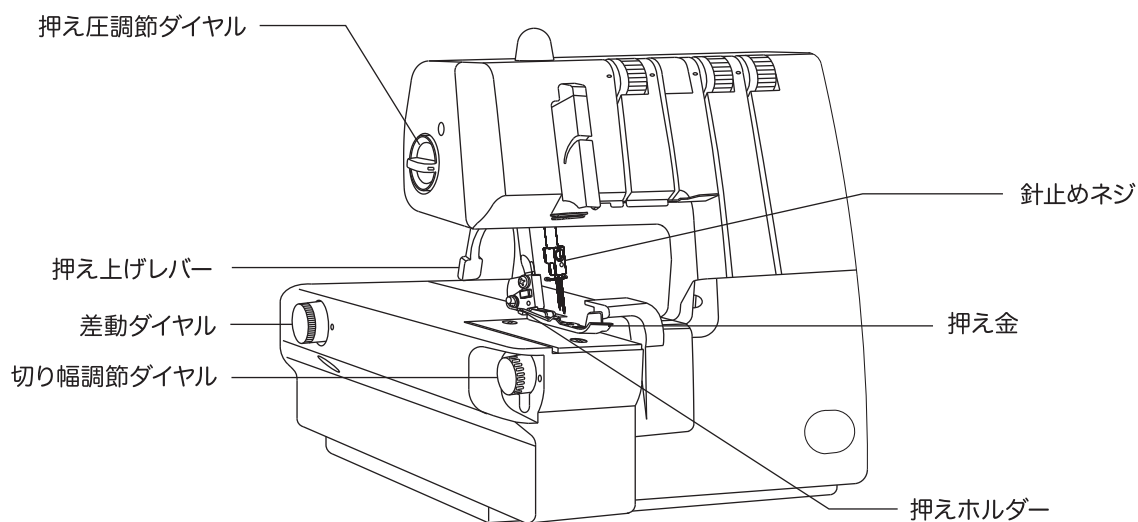
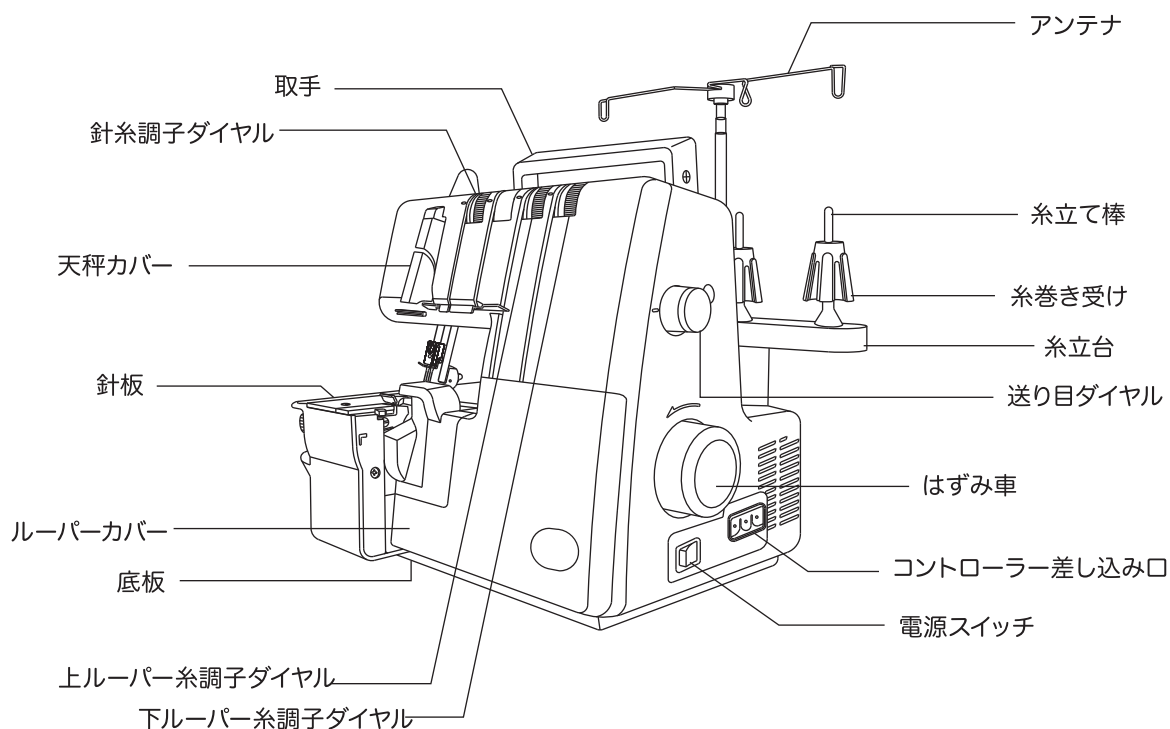
1. 一般家庭用交流電源100Vでご利用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内のコンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき。
 - ・ ミシンをご使用になったあと。
 - ・ ミシンのご使用中に停電したとき。

▲ 注意

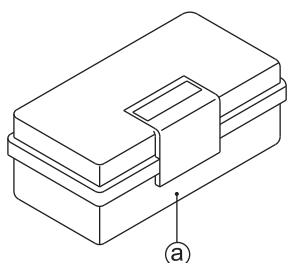
感電、火災、ケガの原因となります。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。2. お客様自身での分解、改造はしないでください。3. ミシンを操作するときは、ルーパーカバー、布台カバーなどカバー類を閉じてください。4. 縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーパー、はずみ車、天びんなど、すべての動いている部分に手、髪の毛を近づけないでください。5. 針折れの原因になるような曲がった針や先のつぶれた針はご使用にならないでください。6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。7. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご注意ください。8. ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがつかないようにしてください。
ミシン内部に異物を入れないでください。
また糸くずやホコリがたまらないように定期的に掃除してください。9. ミシン本体の換気穴をふさがないでください。 | <ol style="list-style-type: none">10. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。<ul style="list-style-type: none">・ 針、押え、メスなどを交換するとき。・ 針糸、ルーパー糸の糸通しをするとき。・ ランプを交換するとき。
(ランプが冷えてから行ってください。別売のランプも同様です。)・ ご使用のてびきに記載のあるミシンのお手入れ、注油を行うとき。11. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。12. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときはすみやかに使用を停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。<ul style="list-style-type: none">・ 正常に作動しないとき。・ 落下などにより破損したとき。・ 水に濡れたとき。・ 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。・ 異常な臭い、音がするとき。13. ミシンには正規の部品をご使用ください。14. 長時間直射日光の当たる場所やスプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所で使用しないでください。15. 電源プラグをコンセントから抜くときは電源スイッチを切り、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。 |
|---|---|

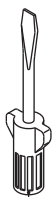
◆各部の名称



◆付属品の明細



アクセサリボックス



①

ドライバー



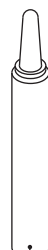
②

上メス



③

ネット



④

ミシン油



⑤

糸コマキャップ



⑥

ピンセット



⑦

L型レンチ



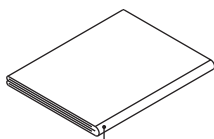
⑧

ブラシ



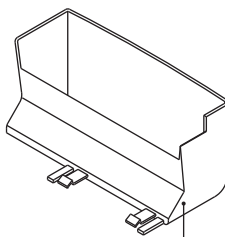
⑨

針セット



⑩

ビニールカバー



⑪

布くず受け



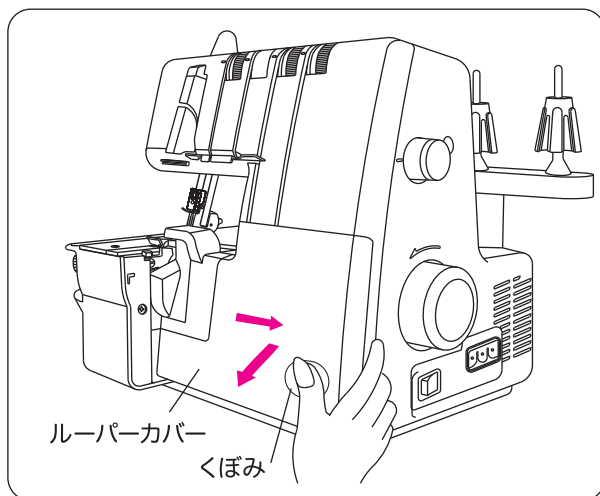
⑫

糸巻き受け

◆ルーパーカバーのあけ方

右図のようにルーパーカバーのくぼみを親指で押えながら、右に引き、手前に倒します。

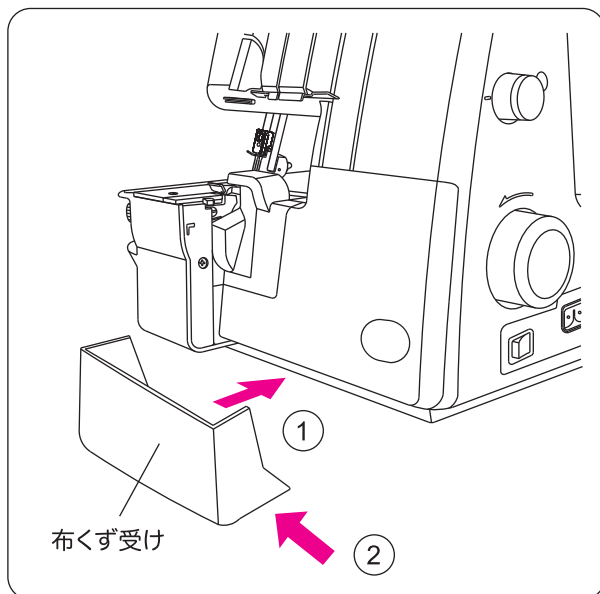
ルーパーカバーが開いているときはミシンは作動しません。



◆布くず受けの取り付け方

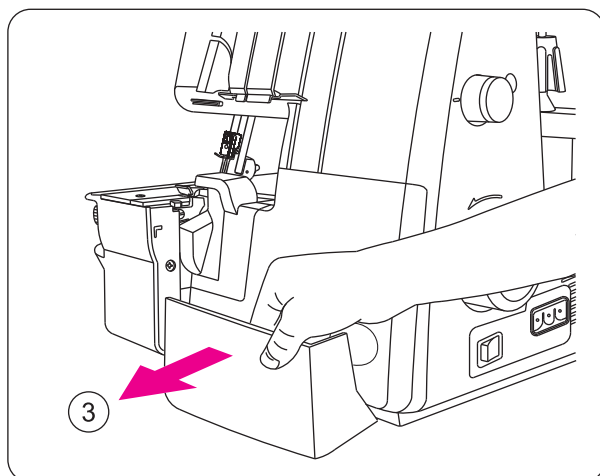
【取り付け】

ルーパーカバーの下に布くず受けを差し込みます。
布くず受けの左側が布くずが出てくる位置に設置されているかご確認ください。



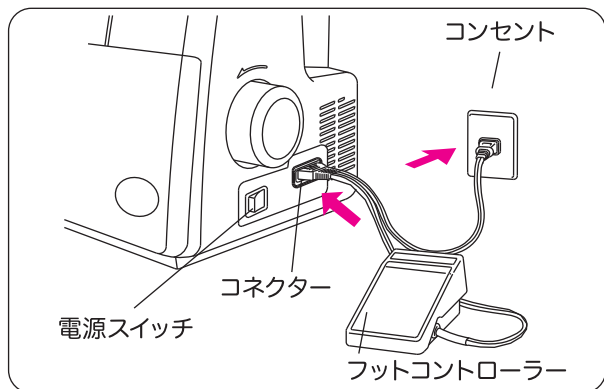
【取りはずし】

右図のように、布くず受けを持ち、手前に引き出します。



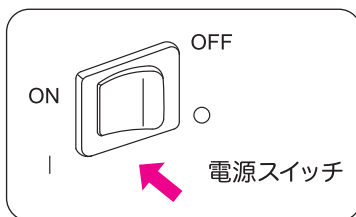
◇電源のつなぎ方

1. 電源スイッチをOFFにします。
2. フットコントローラーの差し込みプラグをミシン本体のコネクターに差し込み、電源プラグをコンセントへ接続します。
3. 電源スイッチをONにします。



⚠ 注意: 感電・火災・ケガの原因となります。
次の場合は電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。

- ◆ ミシンを使用していないとき。
- ◆ 針・押え金等可動部分のパーツ、アクセサリーの交換をしているとき。
- ◆ 糸を通したり、ミシンのお手入れをしているとき。

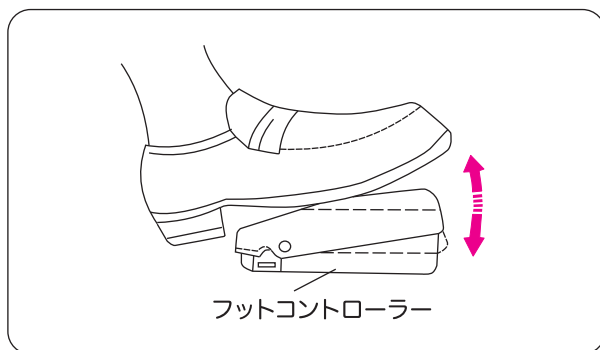


◇スピードの調節

1. フットコントローラーに足を軽く乗せます。
2. 軽く踏み込みます。
3. フットコントローラーの踏み加減で、スピードを調節します。

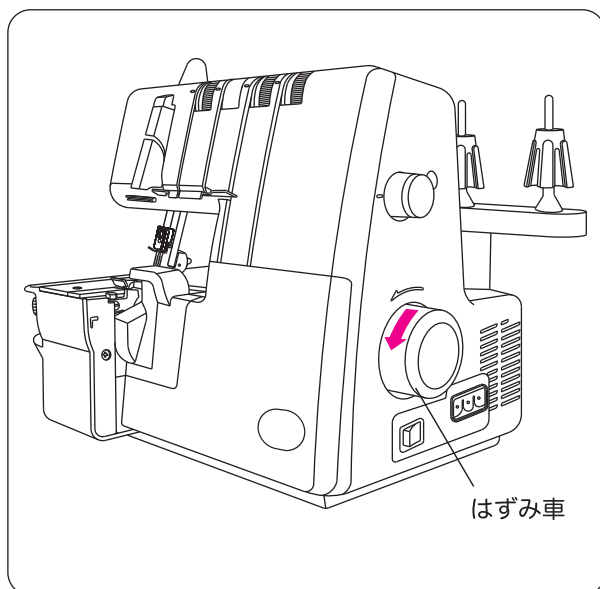
⚠ 注意: 感電・火災・ケガの原因となります。

- ◆ フットコントローラーの上に物を乗せないで下さい。長時間放置しますと火事になる恐れもあります。



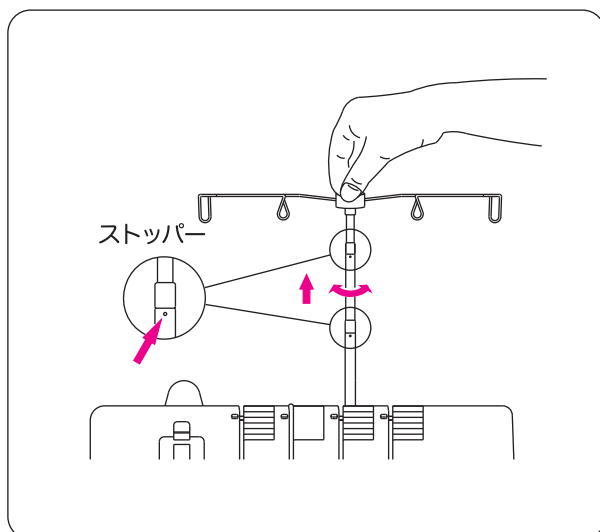
◇はずみ車の回転方向

家庭用ミシンと同じように手前に回します。
後側に回すと糸が切れますので、ご注意ください。



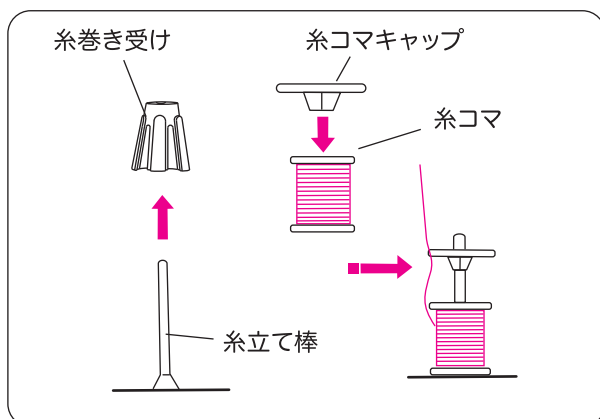
◇アンテナのたて方

1. アンテナの中央を持って、止まる場所までまっすぐに伸ばします。
2. アンテナを左右に少し回して、ストッパーに合わせます。

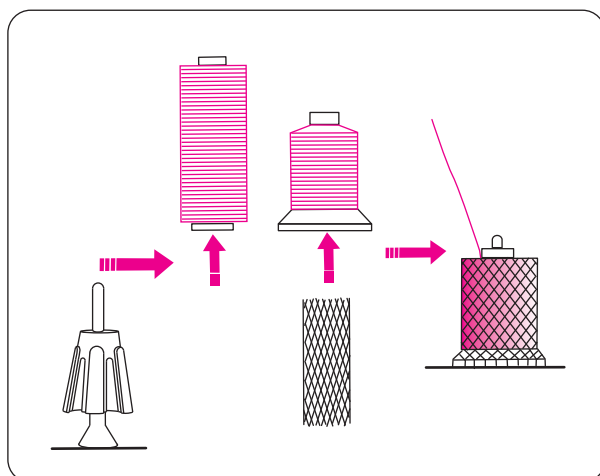


◇糸コマキャップとネットの取り付け方

1. 径の小さい糸コマを使用するときは、糸立て棒から糸巻き受けを抜きとり、糸コマを糸立て棒に差しして糸コマキャップを差し込みます。

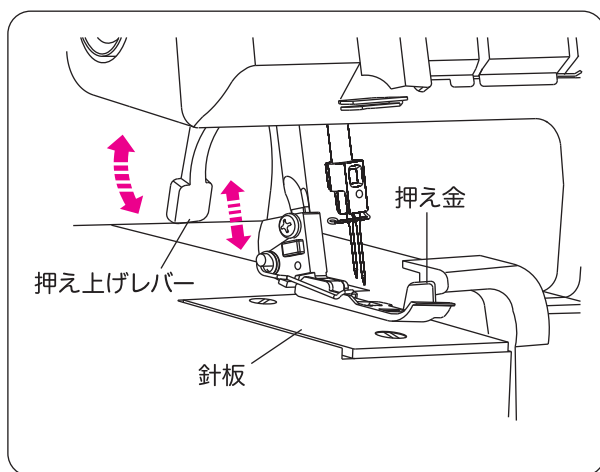


2. 糸がすべりやすく糸コマから糸がほつれ落ちる場合には、糸立台に糸がからんだりしないように図のように、糸コマに付属のネットをかぶせます。



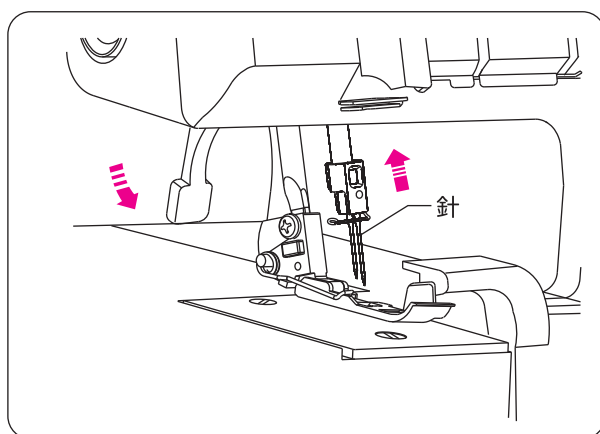
◇押え金の上げ下ろし

押え金を上げる場合は、押え上げレバーを下げてください。



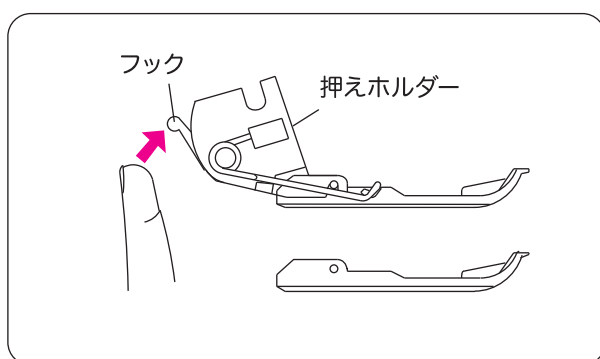
◇押え金の交換

1. 押え上げレバーを下ろし、押え金を上げます。
2. はずみ車を手前に回して針を上にあげます。

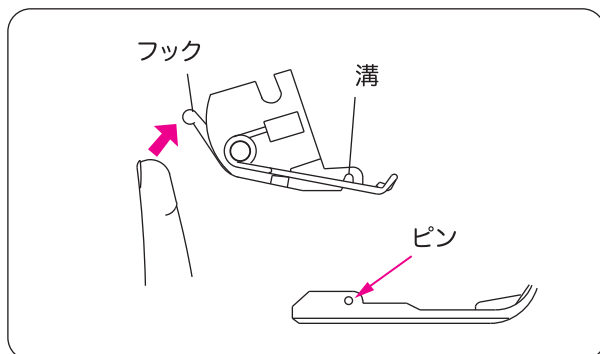


3. 押えホルダーの後方にあるフックを押して押え金を外します。押え上げレバーをいっぱい上げて押え金をとり出します。

⚠ 注意: ケガの恐れがあります。
◆押え金の交換は電源を切ってから行って下さい。



4. 押え金のピンが押えホルダーの溝に一致するように置きます。
5. 押え上げレバーを下げ、フックを押して押え金を押えホルダーにはめ込みます。
6. 押え上げレバーを上に戻して、押え金が確実に押えホルダーに入っているか確認します。



◆糸の通し方

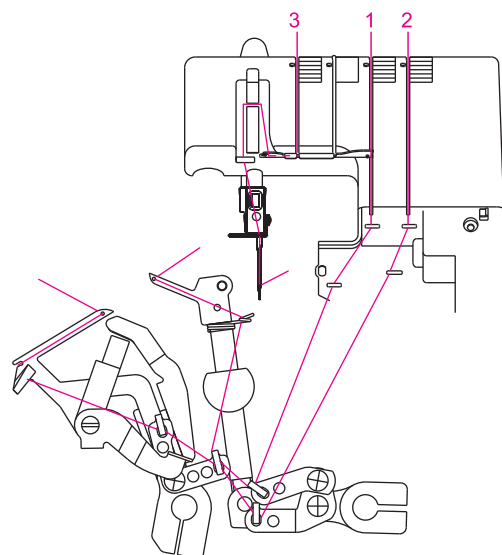
糸は必ず下記の順番で通してください。

① 上ルーパー糸 → ② 下ルーパー糸 → ③ 針糸

糸の通し方を間違えますと目飛びや糸切れの原因となり、縫えません。縫う前に糸が正しく通っているか、必ず確認してください。

なお、糸の通し方の略図を、メスカバーを開けたところに貼っていますので、糸通しをするときは、必ず見て間違いのないように行ってください。

糸を通すときは必ず押え金を上げてください。

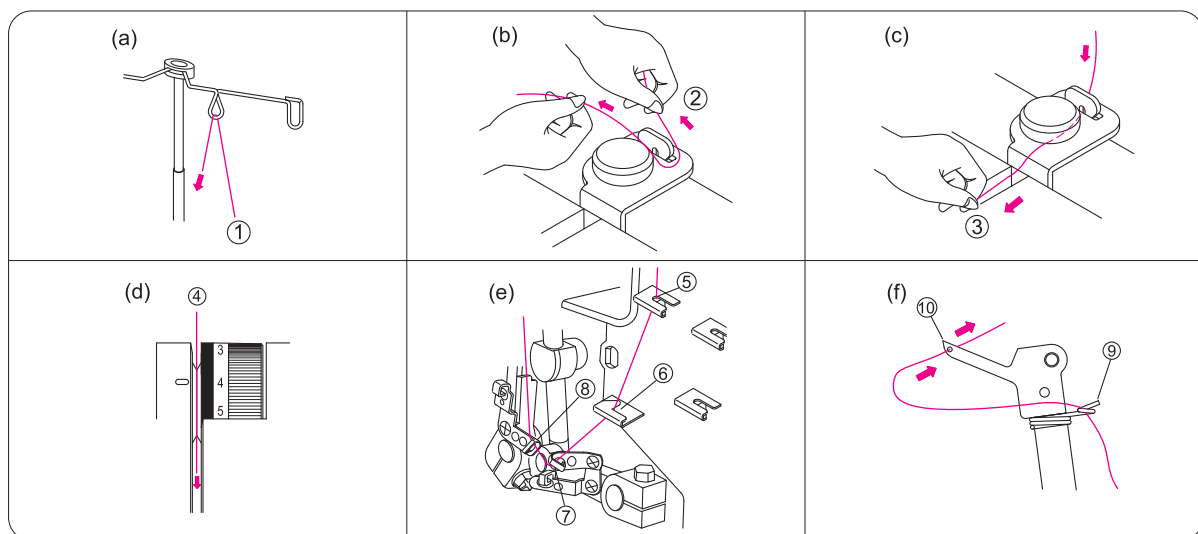
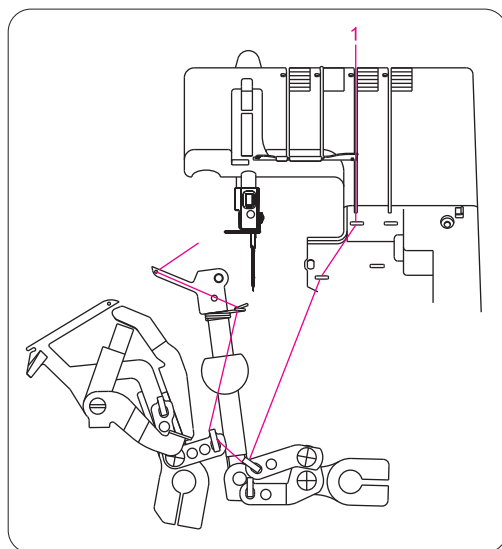


⚠ 注意: ケガの原因になります。

◆糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。
何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

【上ルーパー糸の通し方】

1. ルーパーカバーを開けます。
2. 右から2番目のアンテナガイドに図(a)①のように糸を後から前へ通します。
3. 糸案内の下を図(b)②のようにスベらせ糸を通します。
4. 図(c)③のようにボタンの右側に沿って糸を引き出します。
5. 図(d)④のように糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
6. 糸案内に沿って図(e)⑤のように糸を通します。
7. 図(f)のように上ルーパーの穴⑩に糸を通します。
8. 糸端を15cm程度引き出し、押え金の下に通して後ろに出しておきます。



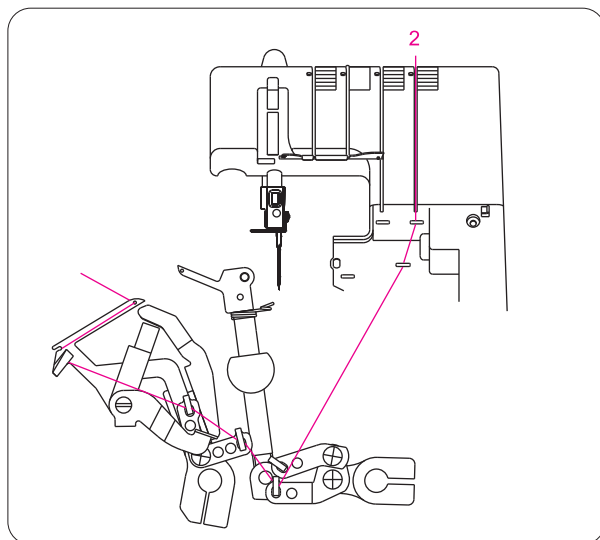
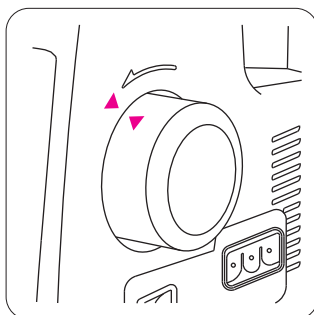
【下ルーパー系の通し方】

⚠ 注意: ケガの原因になります。

◆糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。
何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

1. はずみ車についている▲のマークを合わせます。

2. ルーパーカバーを開けます。



3. 一番右のアンテナガイドに図(a)①のように糸を後ろから前に通します。

4. 糸案内の下を図(b)②のようにスベらせて糸を通します。

5. 図(c)③のように、ボタンの右側に沿って糸を引き出します。

6. 図(d)のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。

7. 糸案内に沿って図(e)④～⑥のようにルーパー部分に糸を通します。

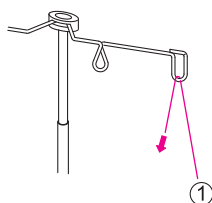
8. ピンセットを使って下ルーパーの先に糸を通し、必ず上ルーパー糸の上へ引き出します。

9. 糸を押え金の下に通した後、15～20cm出して、左手で軽く引っ張っておきます。

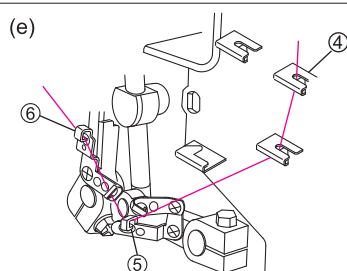
10. 糸が図(f)のように糸かけフックにかかるようにしておき、糸かけレバーをとまる所まで上げたら、レバーから指をはずします。

11. 図(g)のように、下ルーパーの糸かけが完了します。

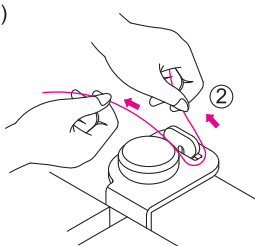
(a)



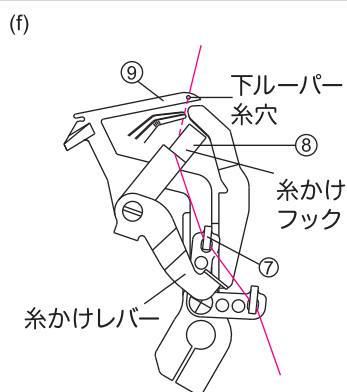
(e)



(b)



(f)



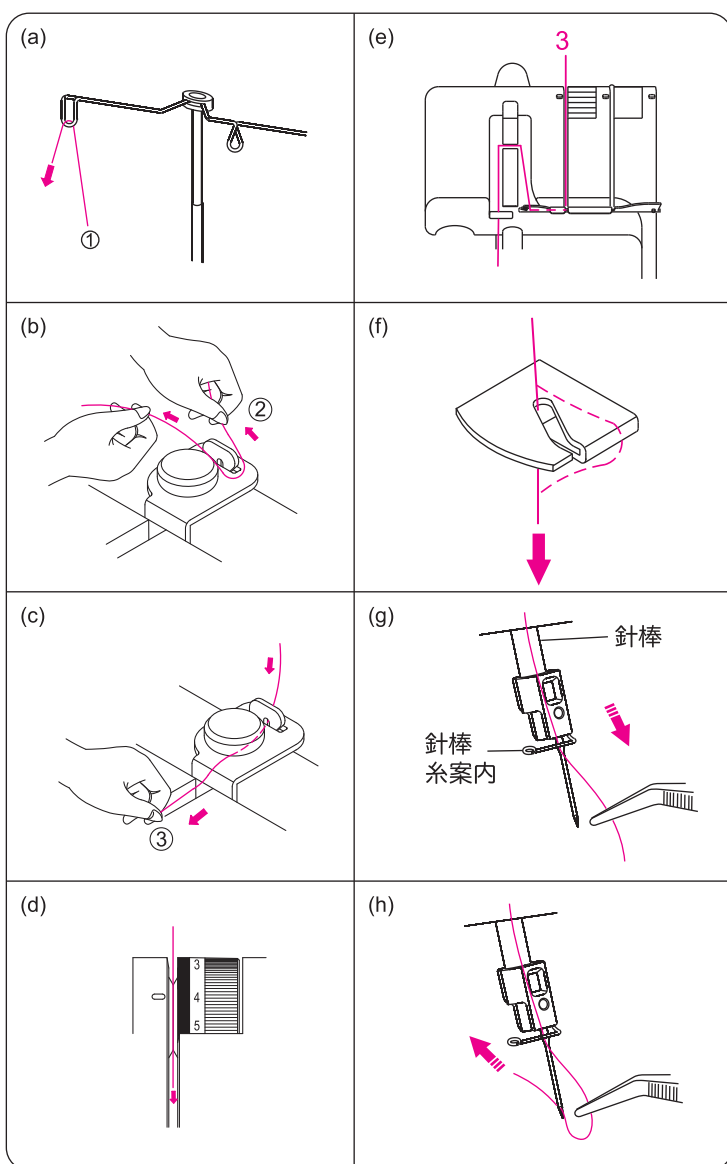
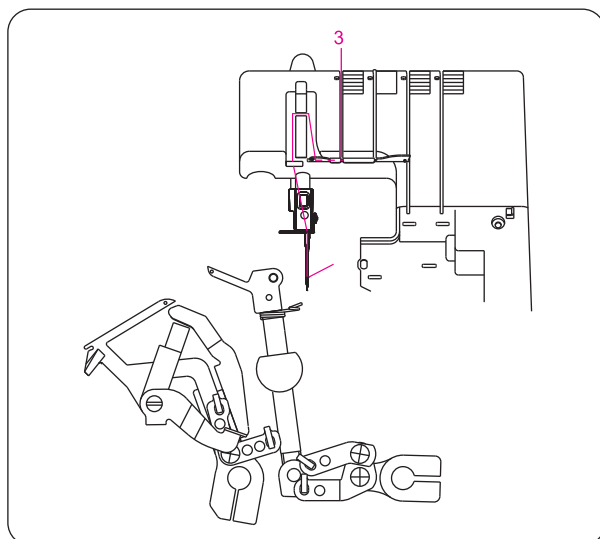
【針糸の通し方】

⚠ 注意: ケガの原因になります。

◆ 糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。
何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

1. 左端の糸立て棒に糸をセットします。
2. 1番左のアンテナガイドに図(a)①のように糸を後ろから前へ通します。
3. 糸案内の下を図(b)②のようにスベらせて糸を通します。
4. 図(c)③のようにボタンの右側に沿って糸を引き出します。

5. 図(d)のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
6. 図(f)のように、糸案内に糸をかけた後、はずみ車を回して、針を一番上にします。
7. 図(g)のように、針棒糸案内に左側から差し込みます。もちろん上から下へ通しても結構です。
8. 図(h)のように、ピンセットを使って、左の針穴に糸を通し、押え金の下を通して後ろへ10cmほど出しておきます。



◇縫いはじめ

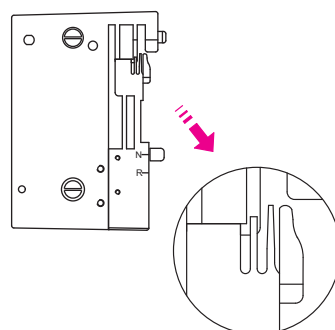
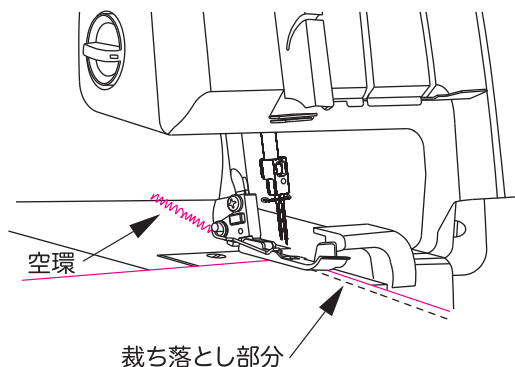
⚠ 注意:ケガの原因になります。

◆針、ルーバー、メス、はずみ車等、可動部分に指や手、髪の毛を近づけないでください。また、始動の際にはすべてのカバーを閉じて下さい。

1. 縫い始める前に、すべての糸が正しく通されているかもう一度確認しておきます。
2. 上メスが解除になっていないか確認します。
3. はずみ車を2～3回手前に回し糸が針板の爪に正しくかかっているか確認します。
4. 空環が5～10cm出るよう空縫いします。
5. 押え金を上げ布の裁ち目をメスの位置に合わせて布を置き、押え金をおろします。
6. フットコントローラーを静かに踏んで縫い始めます。

布地はミシンによって自動的に送られます。無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
空縫い(からぬい)とは布地を縫わずにミシンを始動し、糸だけを送り出すことを言います。

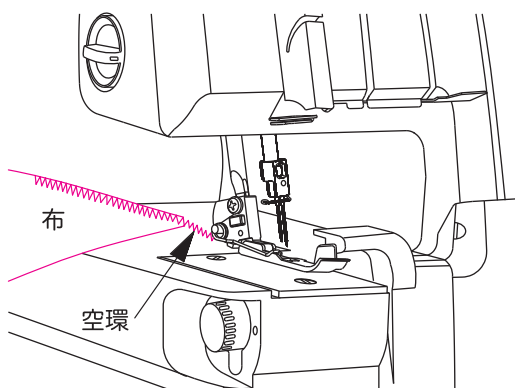
空環(からかん)とは空縫いによってできた糸のあみ目状のことをいいます。



爪部拡大図

◇縫いおわり

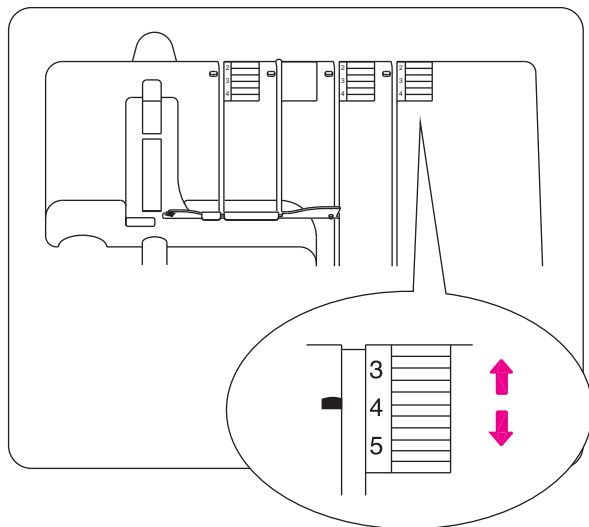
1. 縫い終わったら、20cmほど空縫いをします。
2. 布地の端から10cmほどのところで、縫い糸を切ります。



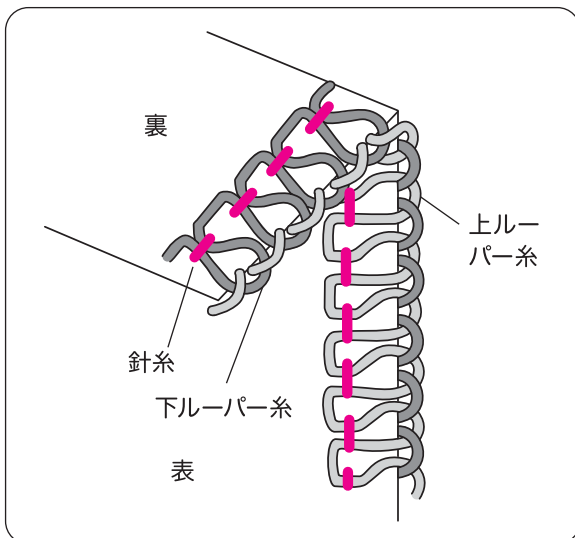
◆糸調子のととり方

糸調子は布地、糸の種類、送り目の大きさに合わせて調節する必要があります。

【糸調子ダイヤル】



【正しい糸調子】

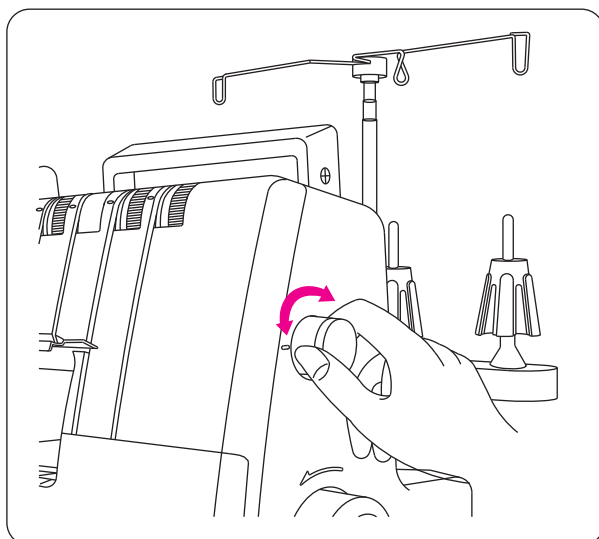


数字が大きいほど強く、小さいほど弱くなります。

針糸がゆるい	上ルーパー糸が布地の裏側に出る場合	下ルーパー糸が布地の表側に出る場合

◇送り目の調節

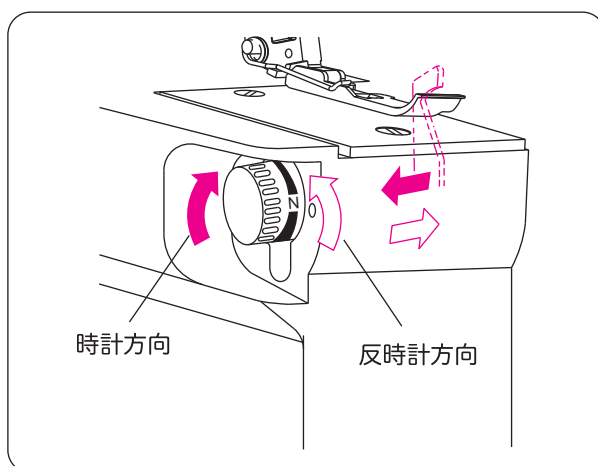
1. 数字が大きくなるほど、送り目は長くなり、数字が小さくなるほど、送り目は短くなります。
2. 送り目の長さは1～4mmの範囲で調節できます。
3. Nは通常の送り目の目安です。



◇切り幅の調節

布地の厚さにあわせて切り幅を調節できます。

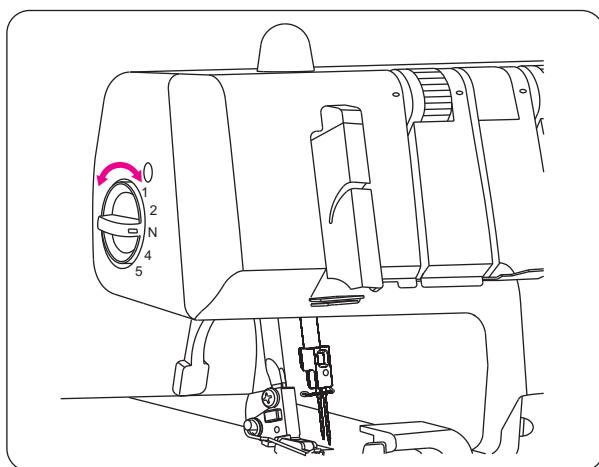
1. 切り幅調節ダイヤルを回します。
 - 反時計方向に回すと、切り幅を大きくできます。
(厚い生地の場合)
 - 時計方向に回すと、切り幅を小さくできます。
(薄い生地の場合)
2. Nは通常の切り幅の目安です。



◇押え圧力の調節

布地の種類に合わせて、ダイヤルを動かすことで、押え圧力の調節ができます。

- 厚地に対しては時計方向に回して、押え圧力を強くして下さい。
 - 薄地に対しては反時計方向に回して、押え圧力を弱くして下さい。
2. Nは通常の押え圧力の目安です。



◆針の交換

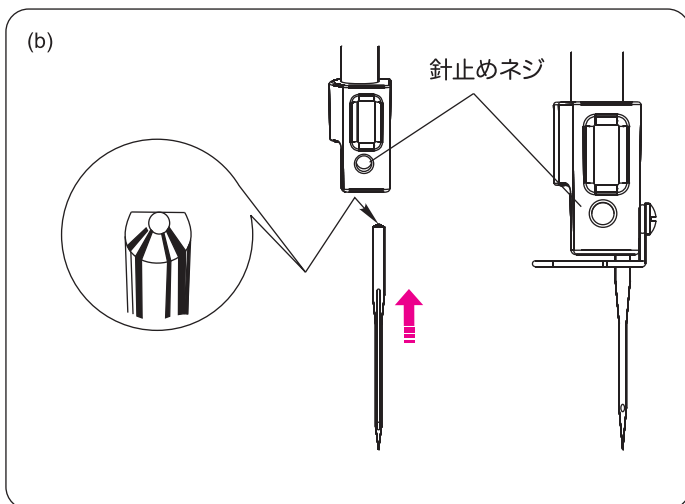
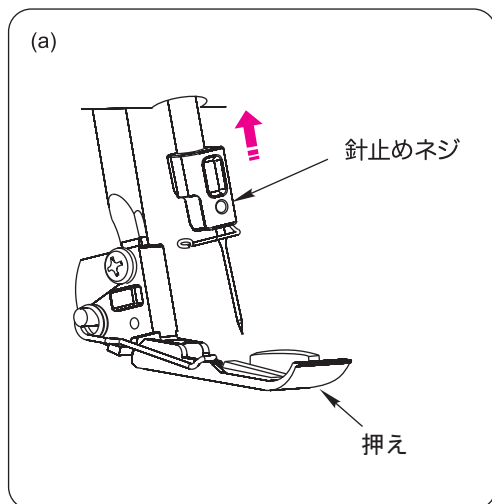
⚠ 注意:ケガ防止のため必ず電源プラグをぬいてから行って下さい。

1. はずみ車を手前に回し、針を上げます。

付属のL型レンチで針止めネジをゆるめ針を抜いて下さい。(図a)

2. 新しい針の平らな部分を後方にして、針止めの1番奥につき当たるまで差し込み、付属のL型レンチで針止めネジを固く締め付けます。(図b)

(注)折れたり曲がったり先のつぶれた針は使用しないで下さい。

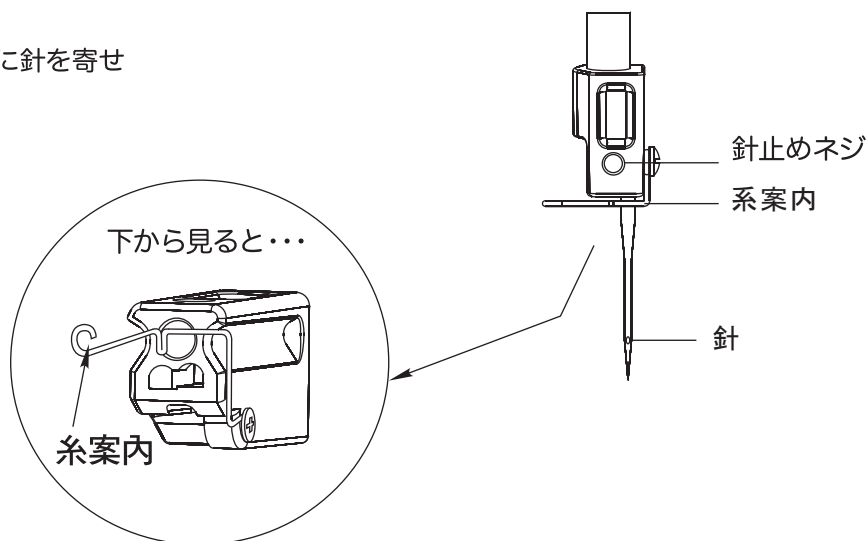


—針の取り付けについての注意—

針を取り付ける穴は、右側にあります。

針は、右側寄りにお取り付け下さい。

針取り付け穴の右端に針を寄せて取り付けして下さい。



◇差動送り量の調節

調節方法

● 縮み縫い

伸びやすい布地を縫う場合／バイヤス地を縫う場合／ギャザーを寄せたい場合など……

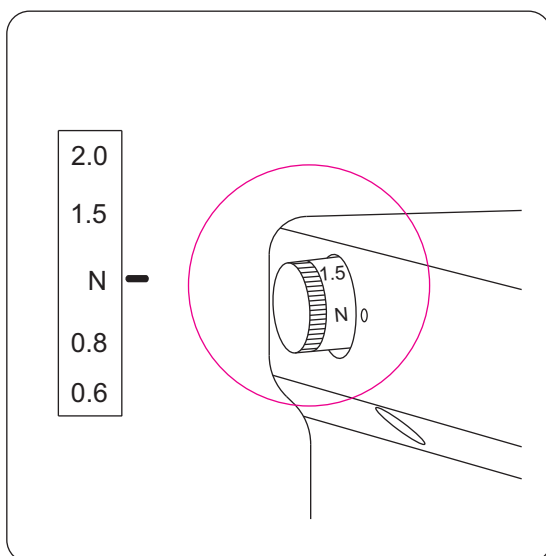
ダイヤルを“”側のN～2.0の数字にセットします。数字が大きくなるにしたがって縮み量は多くなります。

● 伸ばし縫い

縮みやすい布地を縫う場合／伸ばしながら縫う場合など……

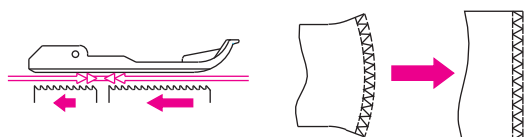
ダイヤルを“”側の0.6～Nの数字にセットします。数字が大きくなるにしたがって伸び量は多くなります。

*差動送り無しで縫うときは、ダイヤル“N”にセットしてください。



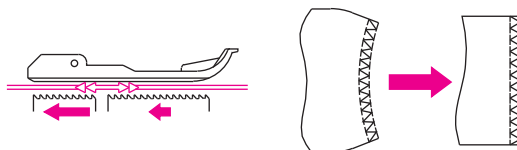
● 縮み縫い

伸びやすい生地



● 伸ばし縫い

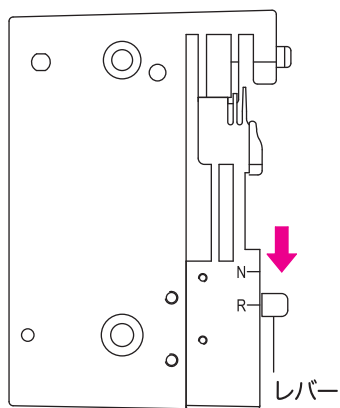
縮みやすい生地



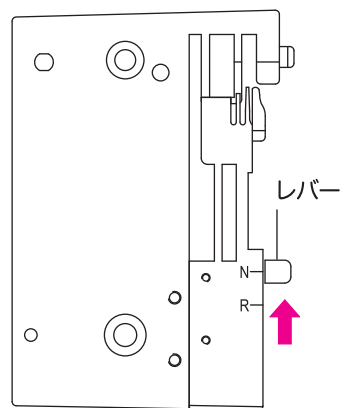
◇巻きロックへの切り換え方

針板のレバーを(N)または(R)に移動することによって(普通ロック←→巻きロック)の切り換えができます。

レバーを(R)にすると巻きロック

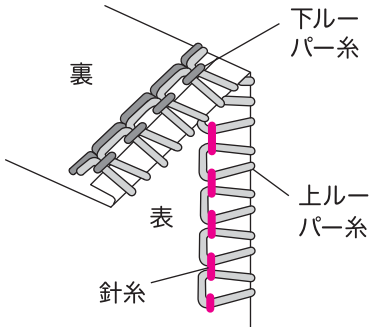
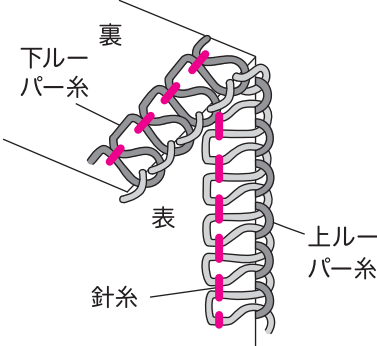
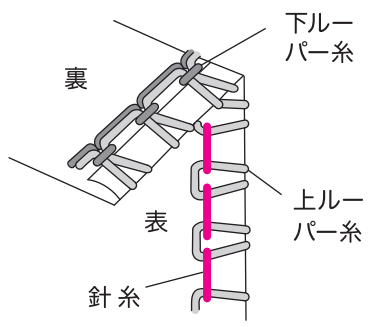
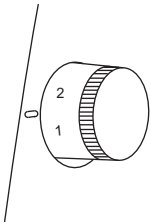
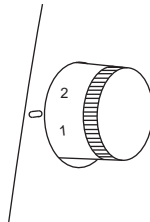
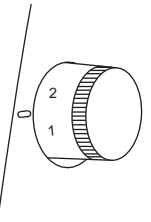
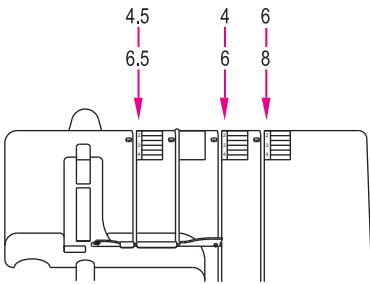
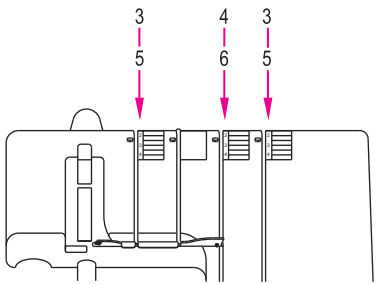
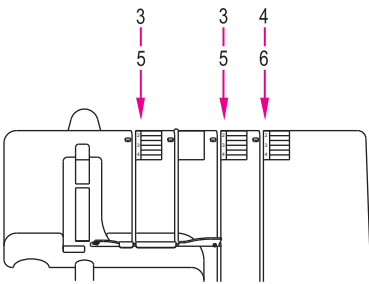


レバーを(N)にすると普通ロック



◇巻きロック縫い

ふちをかがるだけでなく、装飾としても幅広い用途に利用できます。
布地の端を裏側に巻き込みながら縫いますので厚物には不向きです

変形巻きロック縫い	標準巻きロック縫い	ピコ縫い
		
 送りダイヤル (1~2)	 送りダイヤル (1~2)	 送りダイヤル (N~3.5)
		

◆針と糸と布地の関係

布地の種類	オーガンジー、クレープデシン、ローン、ジョーゼットなどのような薄い布地		
針	ELx705 #12		
針糸	ポリエステル糸 #80～100		
上・下ルーパー糸	変形巻きロック	標準巻きロック	ピコ縫い
	ウーリーナイロン ポリエステル ※ウーリーナイロン色は通常、 上ルーパー糸に使用します。	ウーリーナイロン ポリエステル	テترون 60～100 絹 50～100

◆ランプの取り換え方

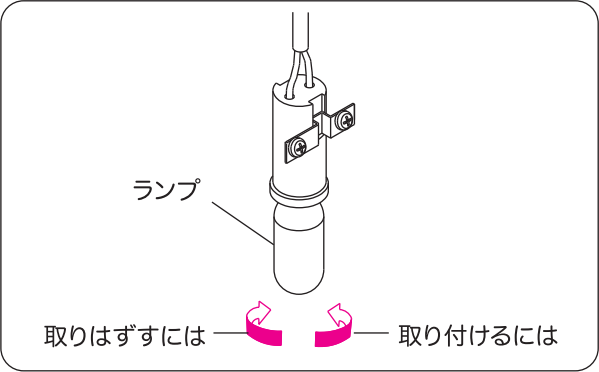
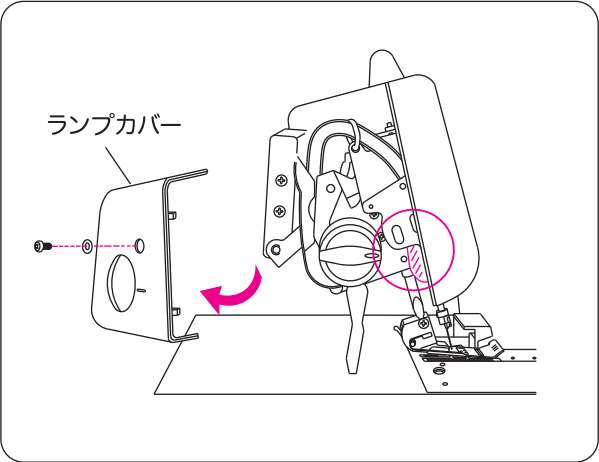
!

注意:ヤケドの恐れがあります。

◆

電源を切りランプが十分冷めてから行って下さい。

1. ランプカバーのネジを取りはずしレバーを軽く後ろに押し、左側に動かして図のように取りはずします。
2. ランプをはずすには左側に回します。ランプを取り付けるには右側に回します。
3. ランプカバーを取りつけます。

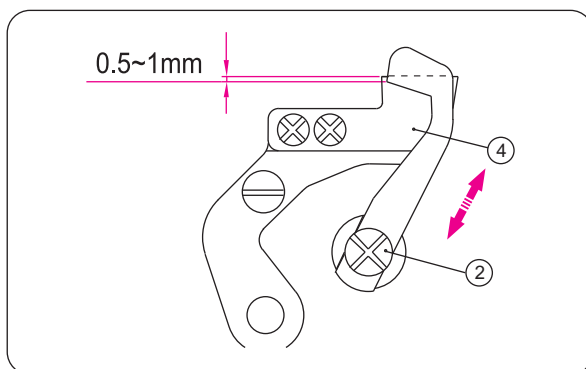
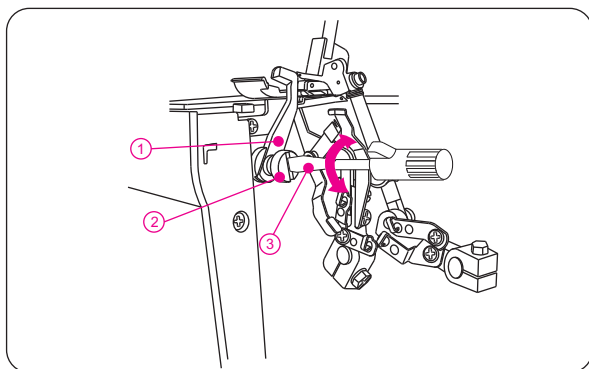


◇上メスの交換

(メスの交換、調整はご購入店に依頼することをお勧めします。)

1. 上メス取り付けネジ②をはずし、上メス①を取りはずします。
 2. 上メルホルダーの位置が1番下にくるようにはずみ車を回します。
 3. その位置で、新しい上メスを上メルホルダーの溝にはめ込みます。
上メスの先端が取り付けた刃④の表面の下約0.5～1mmに、セットされているか、確認します。
 4. 上メス取り付けネジ②を締めます。
- * 下メスは特殊な固い材料で作られていますので、通常は交換の必要はありません。

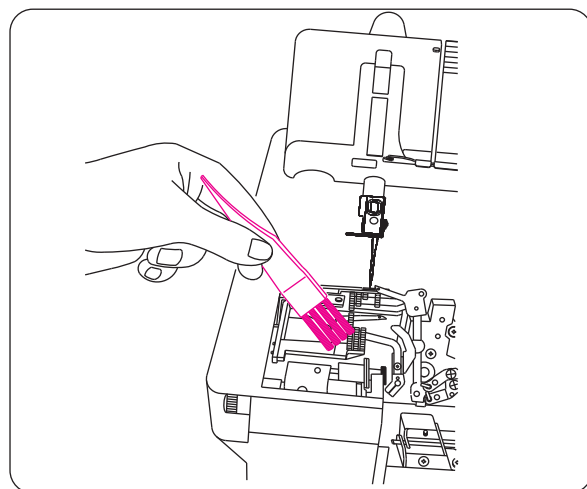
⚠ 注意:ケガ防止のため必ず電源プラグをぬいてから行って下さい。



◇注油とお手入れ

⚠ 注意:ケガの恐れがあります。
電源を切ってから行って下さい。

ミシンをご利用になりますと、綿ぼこりがたまりますので定期的に掃除します。



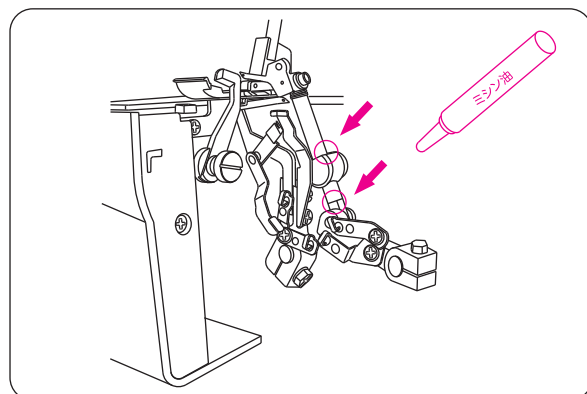
—注油

頻繁にご使用になる場合は定期的に注油して下さい。

注油のめやす:

- 1日8時間、連続使用…毎日使用前に注油
- 1日2～3時間、週2～3回使用…週に1度注油
- 1ヶ月に数回以下の使用…月1度～数ヵ月に1度注油

左図の矢印箇所(1)に1～2滴注油します。



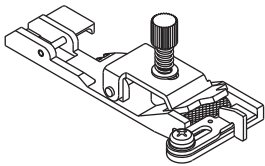
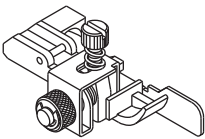
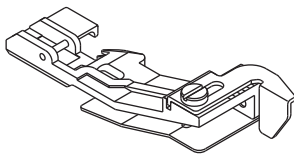
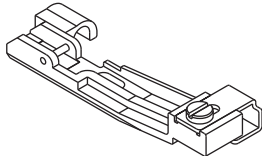
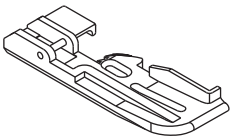
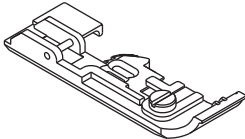
◇調子が悪いときは

ミシンの調子が悪いときは、まず以下の項目を確かめて下さい。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談下さい。

調子の悪い状態	原因	処置の仕方	参照ページ
糸が切れる	1. 針の取り付け方が悪い 2. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 3. 糸調子が強すぎる。 4. 糸の通し方がまちがっている。	—針を正しく取り付けます。 —新しい針に取り換えます。 —糸調子を調節します。 —糸を正しく通します。	14 14 12 8～10
針が折れる	1. 布地を無理にひっぱっている。 2. 正しい針を使用していない。 3. 針の取り付け方が悪い。	—布地を引っ張らないようにして下さい。 —正しい針を使用して下さい。 —針を正しく取り付けます。	11 21 14
目飛びする	1. 針の取り付けが悪い。 2. 針が曲がったり針先がつぶれている。 3. 糸の通し方がまちがっている。	—針を正しく取り付けます。 —新しい針に取り換えます。 —糸を正しく通します。	14 14 8～10
布地にしわがよる	1. 送り目長さが布地に合っていない。 2. 糸調子が強すぎる。 3. かがり幅が布地に合っていない。	—布地に合った送り目長さを調節します。 —糸調子を調節します。 —布地に合ったかがり幅を選びます。	13 12 13
ミシンの回転が重い	1. ミシン部分の一部に糸くずやゴミがついている。	—ミシンの手入れをします。	18
ミシンが動かない	1. 電源プラグがはずれている。	—電源プラグを差し込みます。	5

◆押え金の種類(オプション)

アタッチメント(別売)

	1) ゴム入れ押え ・ ウエストなどシャーリングする時、ゴムを一緒に縫うことができます。
	2) 裾引き押え ・ ニットなどの裾あげをする時に使います。
	3) シャーリング押え ・ 二枚の生地を縫い合わせるとき、片方の生地だけにギャザーを寄せて縫い合わせることができます。
	4) ビーズ押え ・ ビーズやスパンコールの飾りをつける場合に使います。
	5) パイピング押え ・ パイピングコードが簡単につけられます。
	6) テープ押え ・ 伸び止めテープ入れに使います。ニットなどの伸びを防ぎます。

お求めはお買い上げ販売店にお尋ねください。

◇仕様

かがり幅	普通ロック……3～5mm 巻きロック……1.5mm
送り目の長さ	1～4mm
差動比	0.6～2.0(伸ばし、縮みの比率)
メス上下量	6.5mm
押え上げ量	5mm
送り歯高さ	0.7mm(標準)
使用針	EL×705(#12、#14)
使用糸本数	3本
照明ライト	100V 15W
ミシンの重さ	7.4kg

※仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。



株式会社 ベビーロック

本社／〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

東 京 03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大 阪 06(6967)3300
福 岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL